

令和3年度

事業計画書

自 令和3年 4月 1日

至 令和4年 3月31日

公益財団法人献血供給事業団

# 目 次

## 1. 公益目的事業

【 令和3年度基本行動方針 】	1ページ
【 総務部・業務計画 】	2ページ～4ページ
【 供給部・業務計画 】	5ページ～6ページ
【 血漿分画促進部・業務計画 】	7ページ

## 2. 収益事業

【 収益事業等の業務計画 】	8ページ
----------------	------

## 1. 公益目的事業

### 【 令和3年度基本行動方針 】

公益財団法人としての社会的使命を役員及び全職員が自覚し、定款第3条に掲げる「本事業団は、血液由来製剤等を必要とする患者、医療関係者及び医療機関に対し総合的な血液供給事業を行い、献血血液による血液事業の円滑かつ適正な推進及び発展に寄与することを目的とする。」という理念に基づき、令和3年度の基本行動方針を策定し、各事業を推進する。

1. 日本赤十字社との業務委託契約に基づき業務連携の強化を進める。安定的に事業を継続していくために、更なる経費節減を実施し、業務及び組織の効率化、高度化を行っていく。さらに令和4年度中に行われる業務委託契約の改訂に向けて、日本赤十字社と供給業務等の見直しについて協議を行っていく。
2. 新型コロナウイルス感染症の収束については先が見えない状況であるが、引き続き感染防止対策を行い、事業継続のために東京都赤十字血液センターと対応策等の連携を強化し、輸血用血液の安定供給に努めていく。
3. 供給管理システムのデータを活用し分析することで、より効率的な人員配置、供給コースの見直しを行う。日本赤十字社のWEB受注システムに対応した機能追加やバージョンアップを行い、より安全で確実な供給体制の構築を推進する。
4. 血漿分画製剤について、本年4月に薬価改定が実施されるが、新型コロナウイルスの影響により医療機関の経営環境も厳しく、価格交渉が難航することが予想される。丁寧な営業活動を行い、取引口座の継続と新規医療機関の獲得を目指す。国内献血由来製剤の国内自給率の維持と安定供給のため、引き続きクロスエイトMCの供給促進に努めていく。

【 総務部・業務計画 】

1. 車両整備及び車両装備計画

令和3年度は緊急車両10台を代替更新し、普通車両1台を減車する。

	令和2年度 予定保有台数	令和3年度 廃車予定	令和3年度 配備予定	令和3年度 予定保有台数
緊急車両	56台	10台	10台	56台
普通車両	17台	1台	0台	16台
合計	73台	11台	10台	72台

2. 職員の充足及び教育研修計画

(1) 職員の充足計画

	令和2年 4月1日	令和2年度 退職予定	令和3年度 採用予定	令和3年度 予算定員	
職員数	135名	7名	3名	132名	
内訳	男性職員	115名	4名	0名	111名
	女性職員	15名	0名	0名	15名
	男性嘱託職員	4名	2名	3名	5名
	女性嘱託職員	1名	1名	0名	1名

(2) 教育研修計画

- ・各種教育、研修、講習会等を実施し、各職員の資質の向上を図る。特に車両運転に関しては外部研修会等に参加させ、運転技量の向上、安全運転の推進をする。

### 3. 輸血用血液製剤の供給業務委託契約等について

#### (1) 輸血用血液製剤

- ・東京都内における輸血用血液製剤の日本赤十字社との契約は前年に引き続き、「業務委託契約書」によって実施する。

#### 業務内容

1. 梱包及び配送業務(離島への対応含む)
2. 受注業務
3. 当直業務
4. 出庫業務
5. 製品移管業務

#### (2) 血漿分画製剤

- ・各メーカーから血漿分画製剤を直接仕入れ、販売を行う。  
各メーカー(一般社団法人日本血液製剤機構(JB)、日本製薬株式会社、  
帝人ファーマ株式会社等)

### 4. 調査研究及び広報普及事業

#### (1) 調査研究

- ・日本血液事業学会、日本輸血・細胞治療学会等に参加し、演題の発表及び報告書の作成を行う。

#### (2) 広報普及活動

- ・下記の会合を実施し、関係機関に対する情報提供、適正使用のための啓発、献血思想の普及向上等の活動を行う。

(ア) 医療機関に対する血液事情等に関する情報提供

(イ) 東京都赤十字血液センターと業務運営に関する連絡会議の実施

(ウ)各種団体、企業への献血協力依頼

(エ)輸血用血液製剤供給業務途上における各種広報普及活動の実施  
(車両用献血広報ステッカー等の作成)

(オ)献血ルームにおける献血者への協力呼び掛け等の実施

## 5. 防災訓練

東京都、各市区町村主催の防災訓練に参加するとともに、広域需給体制に対応した、より実践的な自主防災訓練を実施する。

### (1) 合同防災訓練

①令和3年度東京都・東村山市合同防災訓練に参加予定

②八王子市総合防災訓練に参加予定

### (2) 自主防災訓練の実施

【 供給部・業務計画 】

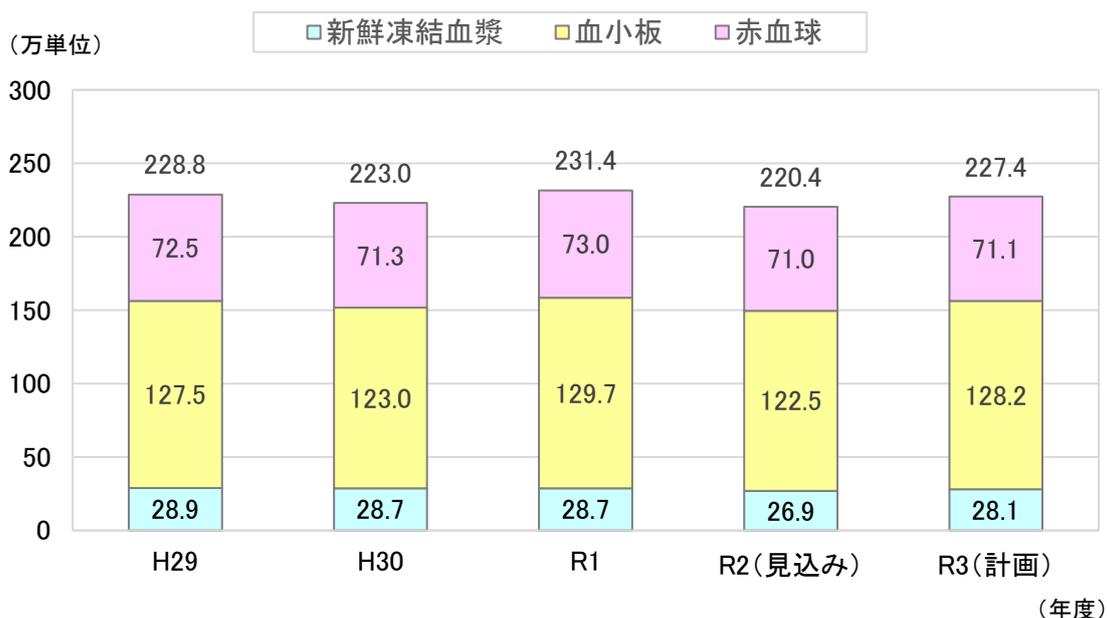
1. 輸血用血液製剤 供給計画

総供給数(単位換算)

令和2年度見込み 2,204,000単位

令和3年度計画 2,274,000単位

(対前年比103.2%)

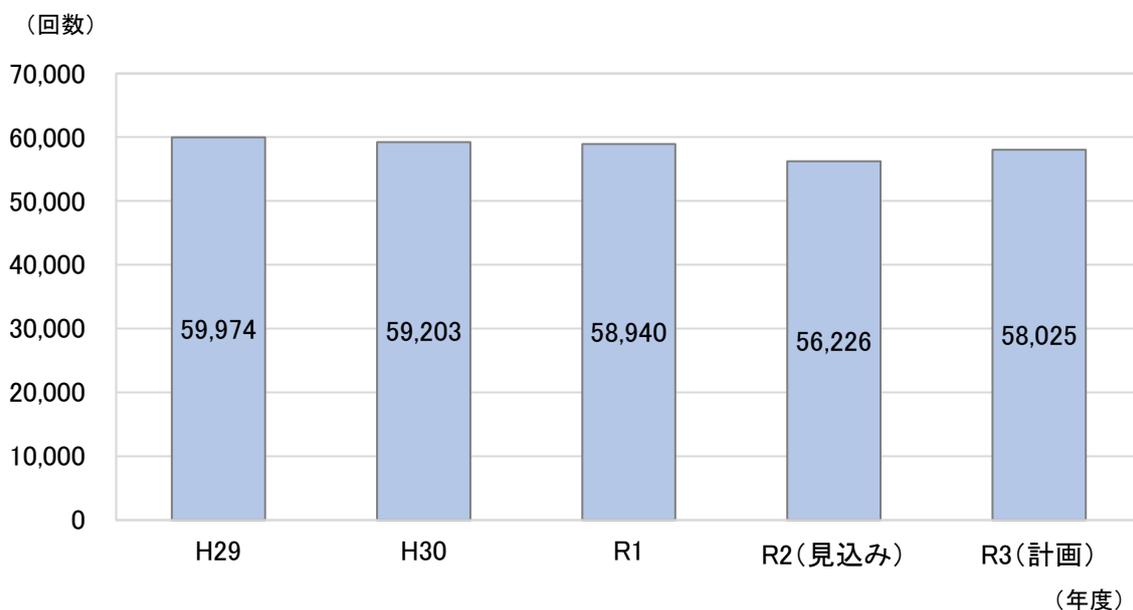


2. 供給出動 計画

(1) 出動回数

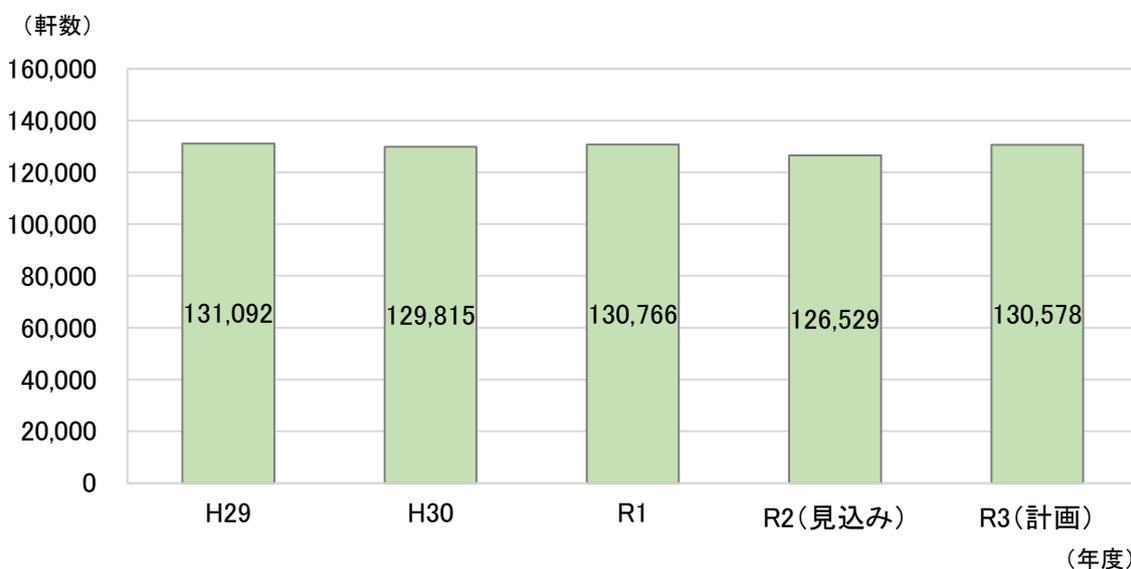
令和2年度見込み 56,226回

令和3年度計画 58,025回



## (2) 供給軒数

令和2年度見込み 126,529軒  
令和3年度計画 130,578軒



## (3) 検体及び血液製剤の回収業務(見込み)

令和3年度計画 1,150件

### 3. 受注業務

東京都赤十字血液センターにて日勤帯に事業団職員が受注業務に携わる  
(1名×365日)

### 4. 当直業務

東京都赤十字血液センターにて毎週火曜日の夜勤帯に事業団職員が受注業務に携わる(1名×50日)

### 5. 出庫業務

供給部 (輸血用血液製剤の取り出し、伝票発行、照合作業等)  
辰巳支所 (照合作業等)  
立川支所 (伝票発行、照合作業等)  
葛飾支所 (照合作業等)

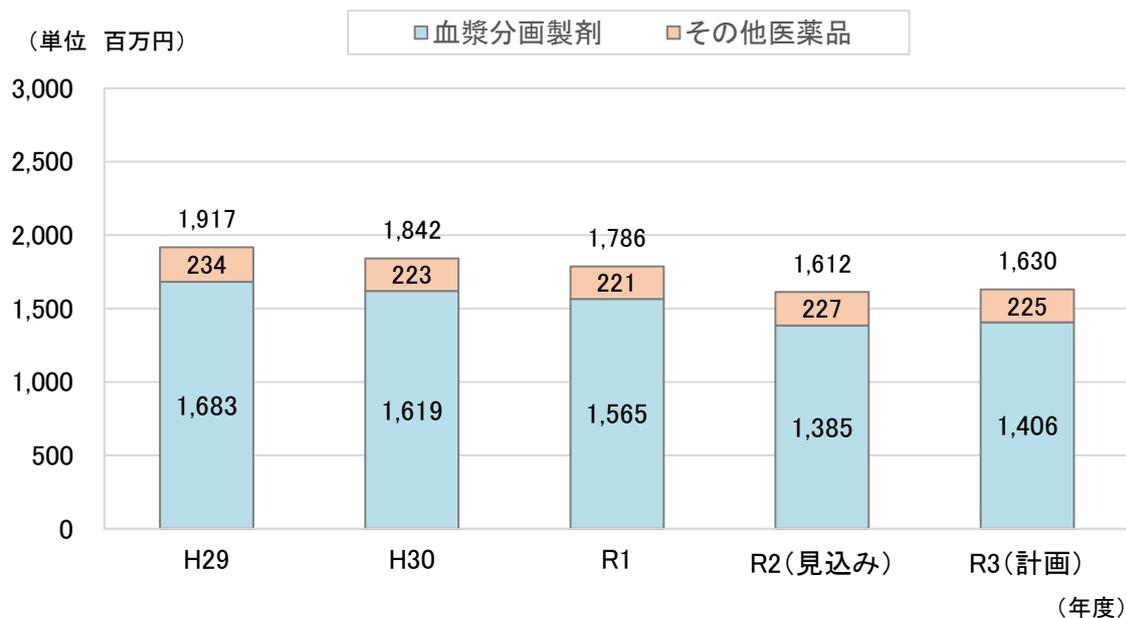
### 6. 製品移管業務

辰巳支所より他の拠点(新宿、立川、葛飾)への輸血用血液の移管業務  
1,460コース (1日4コース×365日)

【 血漿分画促進部・業務計画 】

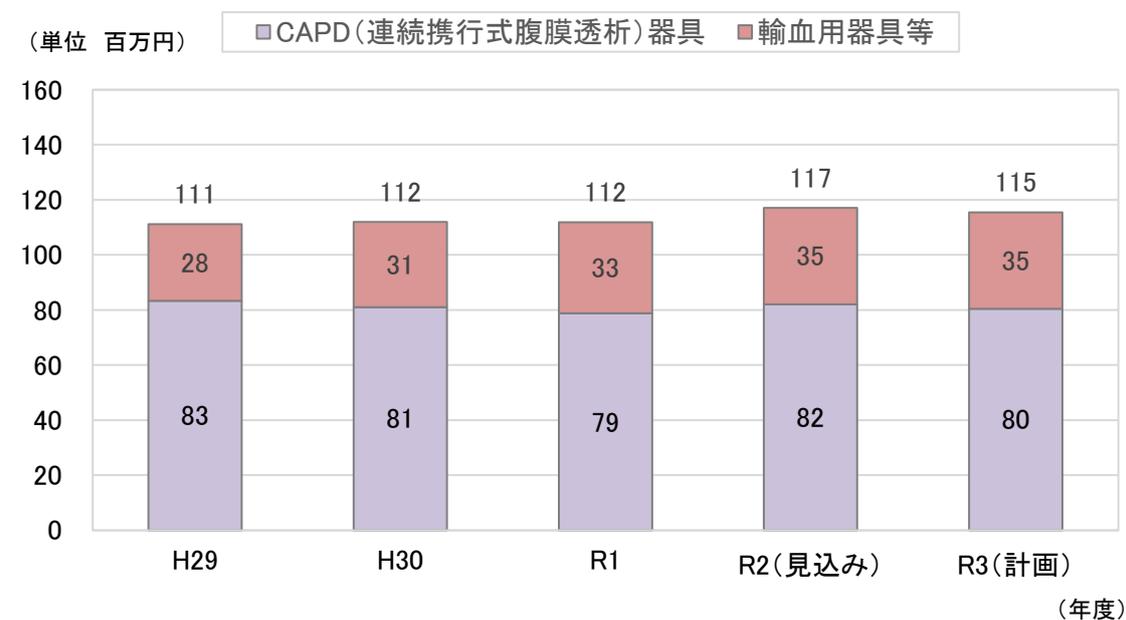
1. 血漿分画製剤、その他医薬品の供給計画(総供給金額)

令和2年度見込み	1,611,887千円
令和3年度計画	1,630,181千円



2. 高度管理医療機器等の販売計画

令和2年度見込み	117,117千円
令和3年度計画	115,476千円



## 2. 収益事業

### 【 収益事業等の業務計画 】

#### 概 要

血液センターの移転等により未使用となった供給基地等の物件を当事業団とは利害関係の無い第三者に賃貸している。

合計賃貸料収入22,612,000円より必要経費を差し引いた、収益の50%を公益目的事業の財源に充当する。

No.	物件	住所	賃借人	賃貸料収入 合計
1	3階建て建物	葛飾区立石	法人	22,612,000円
2	3階建て建物	練馬区早宮	法人	
3	2階建て住宅	町田市図師町	個人	
4	2階建て住宅	町田市図師町	個人	
5	マンション1室	渋谷区広尾	個人	
6	1階建て建物	さいたま市北区	法人	